



通知表（あゆみ）の内容、様式について

— 通知表は、市内全ての小学校で統一した様式です。—

【学習のようす】

子どもたちが生きていくこれからの中は、情報化やグローバル化等が一層進み、変化が激しく、先行きが不透明で予測困難な時代であると言われています。このような時代をたくましく生き抜くために、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を育んでいくことが求められており、小学校では2020年度から改訂された学習指導要領に基づいた授業が実施されています。

学習指導要領では、子どもたちに身に付いた力（新しい時代に必要となる資質・能力）を、全ての教科において、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価しています。これに伴い、通知表（あゆみ）の「学習のようす」は、各教科を「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価しています。

例えば国語科では、

漢字の書き取りテストで間違った漢字がたくさんあった。→「知識・技能」の評価としては △
テストで間違った漢字を自動的に何度も練習できた。→「主体的に学習に取り組む態度」○ または ○
1つの観点には、音読、作文、漢字、読み取り、書写など、様々な学習活動の結果が含まれています。

(例) 3、4年生

3学期は、年間を通した評価になります。

国語	手習のようす	3学期は、年間を通した評価になります。		
		1学期	2学期	年末
	日常生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に親しみながら理解したりすることができる。	1段目「知識・技能」	2段目「思考・判断・表現」	
	筋道立てて考える力や豊かに想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。	1段目「知識・技能」	2段目「思考・判断・表現」	
	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている。 地域の特色と人々の生活との関わりを理解するとともに、情報を調べまとめることができる。	3段目「主体的に学習に取り組む態度」		

◎…よくできる ○…できる △…もう少し

※ 3段階で評価します(1年生の1学期と2学期は○、△の2段階)。

※「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間(3年生以上)」、「外国語活動(3、4年生)」は、文章記述で評価します。

せいかつ

【生活のようす】

「生活のようす」についても、指導要録（お子様の指導の課程及び結果の要約を記録したもの）に記載する「行動の記録」の項目に合わせての評価となります。

生活のようす	1学期	2学期	年末
安全に努め、礼儀正しく節度のある生活をすることができる。			
心身の健康に気を付けたり、運動習慣を身に付けたりして、元気に生活することができる。			

○…できる △…もう少し 全学年、2段階で評価します。全ての項目に○ または △が付きます。

◆ 7/15(火)、7/16(水)、7/17(木)はあゆみ渡しです。配付されるあゆみをご覧になって、お子さんの1学期の成長を認め、2学期に向けて励ましていただきたいと思います。

あゆみについて

こんな見方してませんか？

① 「よくできる」「できる」「がんばろう」の数だけで一喜一憂するのはどうでしょう。

「よくできる」がいくつ、「できる」がいくつ、「がんばろう」がいくつといった表面的な数だけを捉えて叱責したりするのではなく、1つ1つの評価と子どもががんばった点とを結びつけて具体的にほめたり、励ましたりしたほうがよいと思います。

② むやみにきょうだい同士や他の子と比べるのはどうでしょう。

「〇〇さんは『よくできる』がいくつもあるのに。それに比べて・・・」
他の子と比べても、変な劣等感・不信感を持たせたときのマイナスのほうが大きいと思います。

② 『生活のようす』の評価は学習以上に大切です。

「勉強さえ、一生懸命やってくれれば・・・」とつい多少わがままであっても、
基本的生活習慣がついていなくても、大目に見てしまいがち。特に学年が進むにつれ、
今後ますます難しくなってきます。問題が起こらないように、絶えず子どもの生活のよう
すには、気を配ってほしいと思います。

③ あゆみの評価は絶対的なものではありません。

子どもは日ごとに変わり、成長しています。あゆみは子どもの実態を知らせるだけでなく、長所を伸ばし、短所を直していくというあくまでも前進的な役割を持つものなのです。
しかし、どうしてもあゆみを子どもの価値づけを行いうものとして受けとめられている
万も多いのではないでしょうか。そしてその結果のみにとらわれ、子どもをいつまでもそ
のような目で見ることは、やる気をなくさせてしまうことになりがちです。それでは成長
の妨げにしかなりません。あゆみは子どもの全能力、全人格を評価したものではありません。
このことをはっきりと捉え、教師とお家の方が協力して子どもを盛り立て、励ましてあげる気持ちこそ、子どもにとって、今後の発展の大重要な基になると思うのです。

◆ 今年度より、あゆみの表紙については、1学期、2学期はありません。3学期のみとなりますのでご理解、ご協力ください。